

ご挨拶

10月に開催されました第70回全国大会とちぎ宇都宮大会へご参加頂きました皆様、誠にありがとうございます。また、主管いただいたJCI宇都宮の皆様、そして副主管の青年会議所の皆様、開催が決定した2018年から3年間、本当にお疲れ様でした。新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか収束を見せず、現地開催も危ぶまれる中、あの手この手で素晴らしい大会を設けて頂きました。

サマーコンファレンスに続く初めてのハイブリッド開催という試みでしたが、比較的晴天に恵まれつつも卒業式当日は序盤雨が降り、途中で雨も上がるという、まさに今年一年を体現しているような全国大会でした。客席にいらっしゃる皆様に対して、そしてWEBにてご視聴して頂いている皆様に対して、この全国大会がどのように映っていたでしょうか。今後、各地青年会議所の皆様がどのような事業を実施されるかわかりませんが、一つの試金石としてお役立て頂ければ幸いです。

また、今月は世界会議ヨハネスブルグ大会が開催されます。昨年開催された横浜大会では、ハイブリッド開催という形で国内メンバーの方々にお集りを頂きました。今年度は堺高石の地にてジャパンナイトを開催させていただきます。こちらも新たな試みとして、日本と世界をつなぐ機会となればと考えております。

そしてJCIでは、JCI日本から今年度小嶋JCI会頭、佐々木JCI副会頭が活躍され、さらに下山田国際グループ担当常任理事が2022年度JCI副会頭として立候補をされております。それぞれの雄姿を多くの皆様にご覧になって頂きたいと思っております。

先月末、衆議院選挙が行われました。今の瞬間に有権者から選択されるとは、何が必要であったのか。決して過去の実績だけではないということが、改めて示されたものでもありました。70年という歴史を刻んできた私たちも、今この瞬間、社会から求められ続けるためには、常にその行動が評価されているということに自覚しなければなりません。

10月後半、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から発せられていた各宣言、措置等が全面的に解除となりました。まだ一部、営業時間による制限が残っております。未曾有のウイルスが今後どのような猛威を奮うのか、はたまたこのまま収束に向かうのか、まだ誰にもわかりません。医療切迫をさせないためにも、基本的な感染対策については引き続き徹底を頂き、日々の青年会議所活動、社業に努めていければと考えております。

会頭メッセージもあと1回、まずは世界会議でお会いしましょう。

Idea&Action 光を放つ起点となろう！

公益社団法人 日本青年会議所
第70代会頭 野並 晃